

科目名	日本語教育の実践Ⅲ(専門日本語教育)1～2
授業の目標・ねらい	初級の日本語教育には一般性がありますが、中級以降は学習者のニーズに合った指導が求められます。学習者の言語活動に直接役立つ日本語能力を養成することは、学習に対するモチベーションの向上にもつながります。授業の目標は、理工系の高等教育を日本語で受ける学習者のために、コースを設定する方法・プロセスを理解することです。またコースデザインについても、あらためて考えてみたいと思います。
授業内容・授業方法	1. 専門日本語教育について 2. 専門日本語教育の方法 3. 専門日本語教育の実践
予習・復習	予習は必要ありません。特定の復習も必要ありませんが、この授業を通して、専門知識を日本語教育に落とし込む視点を持っていただけたらと考えています。したがって、受講生の皆さんがそれぞれお持ちの専門知識を、日本語教育にどのように生かせるかを考えながら生活していただくことが、復習となります。
使用テキスト	プリントを配付します。
参考書等	授業で紹介します
講師	小林伊智郎
所属	工学部
研究分野	日本語学、日本語教育
講師紹介	これまで、国内外で日本語教育に関わってきました。最近では、日本人学生に対する文章表現の指導が業務の中心になりつつあります。なかでも、理工系の論文や製品の取扱説明書で用いられる「テクニカルライティング」というスキルに興味を持っています。また、工学系大学生の海外留学を促進するための研究プロジェクトに関わっていました。